

2013年4月5日

厚生労働大臣
田村憲久 様

新日本婦人の会
会長 笠井貴美代

子宮頸がん予防ワクチン接種による副反応問題についての要請

3月29日、改正予防接種法が成立し、ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防3ワクチンが4月1日から定期接種化されました。運動を積み重ねてきた私たちは大いにこれを歓迎します。

同時に、東京・杉並区での子宮頸がん予防ワクチン副反応問題についての「朝日新聞」(3月8日付)の報道をきっかけに、メディアやインターネットでも不確かな情報が飛びかい、「予防接種しても大丈夫?」という不安の声や、「危険なワクチンを許しているのか」という意見などが、私たちの団体にも寄せられています。

急ぎ、以下のことを要請します。

記

- 1、厚生労働省のホームページに副反応被害について、ワクチンとの因果関係をできるだけ早く解明し、公表してください。
- 1、不安の声にこたえる正確な情報を積極的に提供してください。
- 1、ワクチン接種にあたって、医師からのていねいな説明と事後の対応を徹底してください。
- 1、ワクチン接種による健康被害を受けた場合、国が責任をもって補償してください。